



分からないときは  
〈ヒント〉を見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましょう。

- 1 ボランティア団体に加入する。
- 2 番組を録画する。
- 3 家庭菜園を楽しむ。
- 4 品種を改良する。
- 5 台風のため停電になる。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 国がさかえる。
- 2 きせつの変化を楽しむ。
- 3 塩のかたまりをふんまつにする。
- 4 美しいけしきをながめる。
- 5 焼いた肉を野菜でつつむ。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |

## 〈ヒント〉

一 1 「加」は音読みだよ。

2 「録」は「録音」と同じ読みだよ。

3 「菜」は「野菜」と同じ読みだよ。

4 「品種改良」という言葉は社会科でも習うよ。

5 「停」は「停車」と同じ読みだよ。電気がつかず真っ暗になると困るね。

二 1 「えいこう」「えいよう」の「えい」は「さかえる」の音読みだよ。

2 「きせつ」の「き」は「気」ではないよ。「せつ」は「せつぶん」の「せつ」だよ。

3 「ふん」の訓読みは「こな」、「まつ」の訓読みは「すえ」だよ。

4 「けしき」の「け」は、「ふうけい」の「けい」、「しき」の訓読みは「いろ」だよ。

5 「小づつみ」や「つつみ紙」と同じ漢字だよ。



分からないときは、  
〈ヒント〉を見よう。

どんどんいこう！

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいいに書きましょう。

- 1 愛着があるぬいぐるみ。
- 2 家の裏に倉庫がある。
- 3 各自でメモをとる。
- 4 有名人と名を連ねる。
- 5 具体的な事例を挙げる。

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|   |   |   |   |   |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 絵本をもらってよろこぶ。
- 2 げんじゆうにかんりする。
- 3 次のしゆくじつに友達と会う。
- 4 かれにはんせいをうながす。
- 5 ご飯にはお茶をかかすことができない。

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|   |   |   |   |   |

〈ヒント〉

- 一 「着」は「着陸」と同じ読みだよ。 2 「倉」は「くら」と読んではいけないよ。
- 3 「各」は「各地」と同じ読みだよ。 4 「山が連なる」と同じ読みだよ。
- 5 「事」は「こと」と読んではいけないよ。
- 二 1 総画数は十二画で、「ロ」が二つあるよ。
- 2 「かん」と同じ部分がある漢字は、「官」や「館」だよ。
- 3 「しゆく」は「いわう」という漢字だよ。
- 4 「せい」は「しよう」とも読み、たとえば「文部科学しよう」と使うよ。
- 5 「けっせき」の「けつ」と同じ漢字だよ。

おぼえたかな？



分からないときは  
〈ヒント〉を見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 たん生日の記念に写真をとる。
- 2 明日の航路を調べる。
- 3 ダムの貯水量が増える。
- 4 植物の生長を観察する。
- 5 手を挙げて発表する。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 話し合いのぎだいを決める。
- 2 炭火で魚をやく。
- 3 友達の言葉をしんじる。
- 4 話のようてんをとらえて黒板に書く。
- 5 図書館で本をかりる。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |

〈ヒント〉

- 一 1 「記」は「記号」と、「念」は「信念」と同じ読みだよ。
- 2 「航」は「航海」と同じ読みだよ。
- 3 「貯水」は「水をためる」ことで、「貯」は「貯金」と同じ読みだよ。「水」は「水源」と同じ読みだよ。
- 4 夏休みに「アサガオの観察」をするよね。
- 5 「先生、あてて。」と思うことがあるよね。「上げる」と同じように読むよ。
- 二 1 「かいぎ」の「ぎ」、「だいいい」の「だい」と同じ漢字だよ。
- 2 火を使うので、部首は「ひへん」だよ。
- 3 部首は「にんべん」、つくりは「いう」という漢字だよ。
- 4 「よう」は大切という意味で、「ようやく」にも使われるよ。
- 5 部首は「にんべん」、つくりは「むかし」という漢字だよ。



第 学年 組 番 名前

分からないときは  
〈ヒント〉を見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 なわとびの特訓をする。
- 2 外国に行く旅費が必要だ。
- 3 五字以上、十字未満。
- 4 かばんに荷札をつける。
- 5 毎朝六時に目を覚ます。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 料理をこころみる。
- 2 人と自然のかんけい。
- 3 種からめが出る。
- 4 映画をみてわらう。
- 5 交差点をうせつする。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |

## 〈ヒント〉

- 一 1 「学校」は「がっこう」とつまって読むよね。
  - 2 「旅」の読みは「旅行」と同じだよ。
  - 3 「未」は下の言葉を打ち消すよ。完成していないことを「未完成」と言うね。
  - 4 「荷」は「荷物」、「札」は「名札」と同じ読みだよ。
  - 5 「ねむりから覚める」とも言うよ。
- 二 1 「こころみる」は訓読みだよ。音読みは「しけん」の「し」だよ。
  - 2 「かん」の部首は「もんがまえ」、「けい」は「かかり」と同じ漢字だよ。
  - 3 植物にかんけいするから、部首は「くさかんむり」だよ。
  - 4 「竹」と「犬」を組み合わせてできた漢字だよ。ただし、どちらも形が変わるよ。
  - 5 「うせつ」は「みぎに曲がること」だよ。



第 学年 組 番 名前

分からないときは  
ヒントを見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

1 体によい大豆を食べる。

2 合唱の大会に出る。

3 貨物列車で運ぶ。

4 会長を投票で決める。

5 労働時間が長い。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字で書いてねいに書きましよう。

1 金属を加工するきかいを買う。

2 長年のきぼうをかなえる。

3 けんめいにどりよくする。

4 れきしの勉強は楽しい。

5 けんこうがいちばん大切だ。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |

〈ヒント〉

一 1 「豆」には、「まめ」、「とう」、「〇」といろいろな読みがあるよ。

2 「合」は「合体」、「唱」は「唱歌」と同じ読みだよ。

3 「金貨」の「貨」が使われているよ。「物」は「もの」と読まないでね。

4 「票」に「木」をつけると「標」となり、どちらも同じ音読みだよ。

5 「労」は「苦勞」と同じ読みだよ。

二 1 「き」も「かい」も「きへん」の漢字だよ。

2 「き」も「ぼう」も、「のぞみ」という意味をもっているよ。

3 「ど」の訓読みは「つとめる」だよ。

4 「れきし」の「れき」は、漢字辞典では「止」の部に出ているよ。

5 毎朝しているよね、「けんこう観察」。

すい、すい！



分からないときは、  
ヒントを見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてい  
ねいに書きましょう。

- 1 協定を結ぶ。
  - 2 赤みを帯びた色になる。
  - 3 国語辞典で調べる。
  - 4 めずらしいチョウが飛来する。
  - 5 日照時間が長くなる。
- |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|   |   |   |   |   |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きま  
しょう。

- 1 お米のはいきゅうがある。
  - 2 さんか者をつのる。
  - 3 地図でいちを調べる。
  - 4 右か左かをえらぶ。
  - 5 赤ちゃんが大きな声でなく。
- |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|   |   |   |   |   |

〈ヒント〉

- 一 「協」は「協力」と、「定」は「決定」と同じ読みだよ。  
「帯」の訓読みと似た読みだよ。
- 二 「漢字辞典」もあるよ。「古典」の「典」と同じだね。
- 三 「飛行」、「未来」と同じ読みだよ。
- 四 「照」は「照明」と同じ読みだよ。
- 五 「はいたつ」の「はい」、「きゅうしょく」の「きゅう」と同じ漢字だよ。
- 一 「さんかんび」の「さん」と同じ漢字だよ。
- 二 「い」の訓読みは「くらい」、「ち」の訓読みは「おく」だよ。
- 三 「せん手」の「せん」と同じ漢字だよ。
- 四 「さんずい」と「たつ」の組み合わせだよ。



第 学年 組 番 名前

分らないときは  
ヒントを見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 物事を客観的に見る。
- 2 極地に出かける。
- 3 曲芸をひろうする。
- 4 古くから伝わる食べ物。
- 5 大きな期待をよせる。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 円のちよつけいを求める。
- 2 信用をうしなう。
- 3 春のおとずれをつげる。
- 4 お年玉をちよきんする。
- 5 全員のせいとの前で話をする。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |

〈ヒント〉

- 一 「客」は「きゃく」の読みが変化するよ。「観」は「観察」と同じ読みだよ。
- 2 「極」は「南極」と同じ読みだよ。
- 3 「作曲」、「園芸」と同じ読みだよ。
- 4 「伝わる」は「つ〇わる」と読むよ。
- 5 「待」は「自宅待機」と同じ読みだよ。
- 二 1 「ちよく線」の「ちよく」と同じ、「けい」は「ぎょうにんべにん」の漢字だよ。
- 2 「矢」と似ているから気をつけてね。
- 3 「新聞こうこく」の「こく」と同じ漢字だよ。
- 4 おかねに関する漢字は「かいへん」だよ。
- 5 中学校に通うのが「せいと」だよ。「と」は「ぎょうにんべん」に「はしる」と書くよ。



第 学年 組 番 名前

分からないときは  
「ヒント」を見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてい  
ねいに書きましよう。

- 1 作家を副業とする。
- 2 初秋の風を感じる。
- 3 国を治める。
- 4 必ずお茶を飲む。
- 5 強固な考えをもつ。

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|   |   |   |   |   |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きま  
しよう。

- 1 日光をあびる。
- 2 読書をあいこうする。
- 3 ぶどうのたね。
- 4 たんしんで海外に行く。
- 5 鳥のすを見つける。

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|   |   |   |   |   |

〈ヒント〉

- 一 1 「副」と「福」は同じ部分をもち、読みも同じだよ。
- 2 「秋」は「あき」と読んではいけないよ。
- 3 「収める」、「修める」も同じ読みだよ。
- 4 「必ず」は「か〇〇ず」と読むよ。
- 5 「固」と「古」は同じ部分をもち、読みも同じだよ。
- 二 1 「さんずい」に「たに」を書くよ。
- 2 「あいこう」とは、「そのことをすきになり、親しむ」ことだよ。
- 3 「のぎへん」に「おもい」を書くよ。
- 4 「たにい」の「たん」、「しんちよう」の「しん」と同じ漢字だよ。「たんしん」は一人と  
いう意味だよ。
- 5 「すばこ」、「すだつ」も同じ漢字だよ。



分からないときは、  
ヒントを見よう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましょう。

- 1 胃腸によい飲み物。
- 2 実験を試みる。
- 3 勉強が順調に進む。
- 4 おしくも敗北した。
- 5 臣下に命じる。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字で書いてねいに書きましょう。

- 1 ぶんみやくで意味をとらえる。
- 2 体にゆうがいな食品てん加物。
- 3 計画がせいこうする。
- 4 案内状をいんさつする。
- 5 ていくうを飛ぶ。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |

<ヒント>

- 一 「胃」も「腸」も体の中にあるよ。
- 2 「実」は「じつ」から読み方が変化するよ。つまる音になるよ。
- 3 「順番」、「体調」と同じ読みだよ。
- 4 「勝敗」の「敗」と同じ読みだよ。「北と七星」の「北」がにこった音だよ。
- 5 「臣下」とは、「王などに仕える人」のことだよ。
- 二 1 「さんみやく」の「みやく」と同じ漢字だよ。
- 2 「ゆうがい」は「がいがある」という意味だよ。
- 3 「せいこう」の反対の意味の言葉は「失敗」だよ。
- 4 「いん」の訓読みは「しるし」、「さつ」の訓読みは「する」だよ。
- 5 「ていくう」とは、「地面に近いそら、ひくいそら」のことだよ。



第 学年 組 番 名前

分かることばは、  
ヒントを見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いていねいに書きましよう。

- 1 いつも最前線<sup>さいぜんせん</sup>で働く。
- 2 寒冷<sup>かんれい</sup>な土地で生育<sup>せいよく</sup>する。
- 3 高校球児<sup>こうこうきゅうに</sup>をおうえんする。
- 4 司法試験<sup>しふほうしけん</sup>を受ける。
- 5 強いチームと対戦<sup>たいせん</sup>する。

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|   |   |   |   |   |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 人々のちゅうもく<sup>ちゅうもく</sup>を浴びる。
- 2 かがみ<sup>かがみ</sup>で自分の顔を見る。
- 3 しずかに耳<sup>みみ</sup>をすまます。
- 4 大会<sup>たいかい</sup>に出てしようにひん<sup>ひん</sup>をもらろう。
- 5 買い物にべんり<sup>べんり</sup>なかご<sup>なかご</sup>をもつ。

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|   |   |   |   |   |

ヒント

- 一 「前線<sup>ぜんせん</sup>」は「秋雨前線<sup>あきいりぜんせん</sup>」などで使われるよ。
  - 二 「寒気<sup>かんき</sup>」、「冷ぞう庫<sup>れいぞうこ</sup>」と同じ読みだよ。
  - 三 「野球<sup>やきゅう</sup>」、「児童<sup>じどう</sup>」と同じ読みだよ。
  - 四 「司<sup>し</sup>」は「司会<sup>しかい</sup>」と同じ読みだよ。
  - 五 「戦<sup>せん</sup>」は「作戦<sup>さくせん</sup>」と同じ読みだよ。
- 視線<sup>しせん</sup>をそそがれること、人から見られることだよ。
- 二 一 「かがみ」は大昔<sup>おほむかし</sup>、金属<sup>きんぞく</sup>でできていたから、「かねへん」だよ。
  - 三 「あお」と「あら(そう)」を組み合わせるよ。あらそうように波立っていた水が、あおくすみわたることを「しずか」というのかな。
  - 四 「しよう」は「しようじよう」と同じ漢字だよ。
  - 五 「べん」の部首は「にんべん」だよ。つくりの左はらいと右はらいは交差するよ。